



サーバス九州

日本サーバス九州 支部会報 No.139 2010年10月1日

支部長

朝夕の秋風が肌に心地よく感じられる季節になりました。猛暑ということばがびったりあてはまる日本の夏でしたが、みなさまお変わりございませんでしたでしょうか。サーバス九州の会報をお届けします。

1. 2010秋例会のご案内

前回の会報でもご案内していましたが、今回は長崎県の平戸市で行います。ちょっと遠方ですが、お誘い合わせてご参集ください。(今回ははがきでもご案内をさしあげました)

日時:平成22年11月13日(土)15時から~11月14日(日)正午

場所:長崎県平戸市田平町野田免「平戸たびら温泉 サムソンホテル」(0950-57-1110)

内容:1)講演:講師 HFさん 演題「隠れキリシタンの信仰生活一神は愛なり」

2)交流

3)平戸見学 (南蛮文化・隠れキリシタンの里・可能なら生月島まで)

費用:宿泊代 1泊2食 11,000円

2. サーバス活動報告

来訪トラベラー受け入れ

佐賀のNMさんと大分のKAさんからサーバストラベラーの受け入れ報告をいただきましたのでご紹介します。尚、他にもトラベラーを受け入れてくださった方があられましたら、報告をお願いいたします。

フィンランドから再来宅! (KA会員)

8月中旬、フィンランドからトラベラーがおいでになりました。3年前、お父さんと高校生の娘さんの3人で来たことがあり、再度の来宅でした。今回は2人の娘さんのうち、お姉さんが大学生になっていて、BFを伴ってのHSでした。

3年の月日は、女の子にとって凄い変化を見せてくれるものですね。きれいな女性に変身していました。3日間の時間の大方が前のHSの思い出話に終始した感じでした。BFはじっと聞き入っていました。(彼も日本語が達者でした)暑かった今年の日本の夏でしたが、フィンランドも出てくるときはけっこう暑かったと言っていました。

次は、妹が又来たいと言ってますから、そのときはよろしく願いいたします、と言って、阿蘇の方に立っていきました。(この親子は3年前のお正月を佐世保のHさん宅で過ごされた方ですね。再訪問していただけるとは嬉しいですね。OT 追記)

韓国から4日間連続でゲストを迎えました (NM会員)

9月18日(土)、朝早く起きて博多国際フェリーターミナルに出かけると、やっと11時ごろ、AJさんとSHがゲートから出てきました。二人とも釜山在住でお仕事も釜山、私は韓国で何度かお会いしています。タクシーで博多駅に行き、ロッカーに荷物を預けて歩いて「キャナルシティ」に向かっていると街角に「ヴェロ・タクシー」があり、道を尋ねると親切に教えてくれました。それは自動車ではなく自転車タクシーなのです!「いくらですか?」と聞くと若いドライバーが「3人で1000円でいきます。」と答えたのでそれに乗って行くことにしました。滅多に通らないような小道に入ったり、いろいろ説明を聞いたりして、お陰で快適な乗り心地でした。

「キャナルシティ」はしゃれた店が並び若者で溢れ、おまけに運河前のステージではバンド演奏と歌のパフォーマンスがあっていました。AJさんとSHさんのお二人はそれが気に入ったようで、しばらく立って見学していました。それからお目当ての天神へ出かけ、地下商店街や新天町を歩き回りました。歩

き疲れたところで喫茶店に入り、お茶を飲みながら休憩しました。

夕方になったので博多駅に戻り荷物を取り、JR鹿児島線に乗り、鳥栖で長崎線に乗り換え、一つ目の肥前麓駅で降りました。我が家はその麓駅から歩いて1分のところですよ！ 昼間歩き回ったので外出はせず、夕飯を食べながらいろいろな話に花を咲かせました。

翌19日(日)、私たちは友人ご夫婦の自動車で大宰府に出かけ、天満宮に参り梅が枝餅を食した後、近くにある光明寺の庭園を見学しました。お二人は静かな庭園を眺めた後しばし「昼寝」を楽しんでいました！ 夕方我が家に帰り、しばらく休憩の後温泉にご案内しました。湯上りにお二人に「どんなものを食べたいですか？」と尋ねると「ラーメンをぜひとも食べたいのです。」というご返事。そこで近くにある「富豚」というお店に入り、おいしい豚骨ラーメンを賞味して帰宅しました。

その翌日、20日(月)お二人は長崎に向って旅立ちました。短い間でしたが楽しい、充実した国際交流ができました。長崎では現川のYさんのお宅で大変親切にいただき、とても喜び感激していました。この紙面を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

20日(月)の夕方、今度はソウル近くの会員、YYさんご夫妻が見えました。翌21日(火)友人の車で一緒にハウステンボスに出かけました。我が家から1時間半ほどで到着しました。ハウステンボスの帰りに焼き物で有名な有田町に立ち寄り、宮内庁御用達・深川製磁工場前にある「チャイナ・オン・ザ・パーク」でのんびり陶磁器を鑑賞しました。夕方近く我が家に帰り着き、しばらく休憩した後、近くの焼肉レストランに出向き、美味しくて安い肉を腹いっぱい食べて帰って来ました。YYさんご夫妻は次の朝はやくJRで博多駅に向かい、昼ごろの便で空路ソウルに帰って行きました。

2組のゲストを4日間連続して迎えたので少々疲れましたが、楽しい有意義な時間を過ごすことができました。かつてサーバスは「労働・学習・交流」を目指す組織でしたが、時代と共にその目指すものも変わり、今では「交流と学習」が主流となった印象を受けます。来訪トラベラーとの語らいにはいつも何か学ぶべきものがあり、それがサーバスの良さであると思わずにおられません。

サーバストラベリング(訪問)報告

大地震後のクライストチャーチを訪問 (OT会員)

9月17日(金)～19日(日)ニュージーランドのクライストチャーチにお住まいのE & M夫妻を訪ねました。訪問受け入れの受諾は8月にいただいていたのですが、9月4日未明に、クライストチャーチで大地震があり、死者はなかったものの被害はかなり大きく、訪問は無理だろう、とあきらめて、その旨を伝えたところ、「大丈夫だからいらっしゃい」とのメール。お言葉に甘えて帰国前の3日間をそこで過ごさせていただきました。

住まいは被害の大きかった街の中心部をちょっと離れた閑静な高級住宅街。ご主人は元大学の先生、奥さんは元小学校の先生。週のうち数日は非常勤の仕事があるが、普段はお二人で庭造りや家事、ボランティアなどの仕事を楽しまれているとか。

到着した1日目はお二人とお食事とおしゃべり、ご主人の板についての家事手伝いぶりに感動し。思わず、「いつもそんな風にお二人でなさるのですか」と問うたら、「お互いに特別の用事がないかぎりは」とのこと。旅行の話をたくさんしている間に夜も更けて、就寝。

2日目はクライストチャーチ見物に一人でかけ、夕方帰宅。10歳と7歳の男のお孫さんたちが遊びに。夕食はお孫さんの親である娘さん宅でディナーパーティ。ここでも子どもたちのお父さんの家事手伝いぶりに感動。ご夫婦のディナー準備の掛け合いが何とも微笑ましい。娘さんは看護師、ご主人は研究者だそうです。

3日目、日曜日。教会に礼拝に行くが、良かったら来ないか、という誘いを受けたので、同行することに。教会は近所の教会ではなく、引っ越しをする前に行っていた教会に今も行っているとのこと。ご夫婦とも正装。私もちょっとおめかししてお出かけ。

礼拝はプログラム通りに進み、賛美歌もプロジェクターで歌詞が出されるのでわかりやすい。音響効果も十分に配慮され、初参加者もスムーズに入っていける。牧師さんのスピーチも印刷したものをもらった。英語が得意でない外国からの信者用に準備されているとのこと。スピーチの話題はもちろん地震と復興について。

礼拝が終わったらティータイム。そこは社交場兼地域の情報交換場。にぎやかだ。ボランティア募集があちこちに張り出されている。参加者の年齢層が高いのが気になった。

礼拝後は自宅で昼食をとり、奥さんと近所を散歩。ショッピングモールとスーパーものぞく。中心部からちょっと離れているので、旅行者らしき姿はあまり見あたらない。スーパーでは大きなカートいっぱい買い物をしている人が多い。あれだけのものをどこにしまっておくのだろうと狭い我が家の台所を頭に描きながら考えた。

夕方、帰国のためにクライストチャーチ空港へ。ご夫婦で空港まで送ってくださる。日本での再会を約束してハグでお別れ。ニュージーランド滞在を非常に意義あるものにしてくれ3日間でした。久々のサーバストラベラリングでしたが、やっぱりサーバスはいいですねー。

<お願い>4月以降サーバス旅行をされた方でまだご報告をいただいていない方がありましたら、旅行の体験談をお知らせください。交流しましょう。

3. サーバス九州会員状況

新会員紹介：

HHさん：お住まいは宮崎市

ピアノの先生をされており、現在フランスに留学中です。向こうでできるだけ沢山のサーバス家庭を訪問してみたいというご希望です。サーバスが留学生生活をさらに意義あるものにしてくれるといいですね。

4. 訃報

サーバス九州支部の元支部長で、元日本サーバス会長、顧問のIK様が、8月20日午前3時前、心筋梗塞でご逝去されました。

N会員からのメールによると、IK様は九州支部の創世記にあって支部の基礎固めをされ、支部の活動の発展にご尽力されてこられたそうです。IK様は ○九州支部長 ○日本サーバス会長 ○日本サーバス・ホームページ管理責任者 ○その後8月まで日本サーバス顧問、日本サーバス50周年記念の編集委員をされていました。

1) 生年：1936年

2) 「サーバス友の会」へ近畿支部にて入会

大分市へ転勤、M生命大分中央営業所長

3) 大分への転勤1年後、EK支部長(九州支部の初代)の後任として1974年(S49)4月より1976年(S51)3月まで支部長を務められています。

4) 支部長としてこの間、支部会報を20号発行されています。

会報は全てがガリ版刷りで、1、2ヶ月ごとに発行されています。

新入会員の紹介、来訪トラベラーの受入レポート、来訪予定者のリスト、各支部の活動状況、外国へのトラベラーとしての訪問報告など内容豊富なB5版平均4ページの会報です。当時のIK様のご苦勞が如何に大変であったかが伺えます。

5) IK様の関西への転勤で、後任として1976年(S51)4月よりIMさんが支部長を務められました。

IK様の生前のご活躍に感謝し、心よりご冥福をお祈りいたします。